



3月3日

来年4月に願泉寺でクラシックコンサートを予定されている、世界的ヴァイオリニストのルッツ・レスコヴィッツ様が市役所に来られました。市長と本市の音楽文化の発展などについて意見を交わされました。



3月18日・21日

市民福祉センター6階多目的ホールで、第6次総合計画策定に向けたまちづくりワークショップを開催しました。市の未来を担う若い世代の皆さんが参加し、様々なアイデアや想いを発表しました。

いただいたご意見は、市のまちづくりの参考とさせていただきます。ありがとうございます。

3月18日

令和6年度全国農業大学校等プロジェクト発表会で、優秀賞(農林水産省経営局長賞)を受賞された和泉真喜代様ご夫妻が、その報告に市役所を訪れました。今後、馬場地区で大阪オリジナルぶどう「虹の雫」の栽培をされるそうです。



3月21日

創新事業協同組合から市立小・中学校用としてマスク38,400枚をご寄贈いただきました。ありがとうございます。



3月26日

市役所1階エントランスホールで、「アシックス歩行姿勢測定&体力測定」を開催しました。参加者は、専門のスタッフによる歩行姿勢の測定を受け、自分の歩き方や姿勢についてのアドバイスを受けることができました。

多くの方が来場し、健康的な歩行や運動習慣についての理解を深める機会となりました。

3月23日



市役所1階エントランスホールで「縁ジョイ縁日」を行いました。昔遊びやわなげ、クレーンゲームなどに目を輝かせて遊ぶ子どもたちの姿が見られました。約400人の家族連れが参加する、笑顔があふれるイベントになりました。



4月4日

木積農の里では、採れたてのタケノコを4月末まで直売しました。木積のタケノコは、白くてえぐみがなく、やわらかいと評判で、市外からも多くの方が買いに来られる人気の特産品です。

3月27日

市では、SMAS[住友三井オートサービス(株)]と「ゼロカーボンシティの実現に関する連携協定」を締結しました。これは、ゼロカーボンシティ実現に向けたリユースEVの利活用に関するものです。公用車としてリユースEVを使用し、実証実験を行い、EVの普及促進、ひいてはゼロカーボンシティの実現をめざします。



市長コラム インフラ老朽化に対する予防保全の徹底、泉州地域全体での安全安心のレベルアップへ

埼玉県八潮市で1月に発生した道路陥没事故は、インフラ老朽化への対策が待ったなしであることを我々に突きつけました。インフラの点検・補修については、限られた維持管理予算や少ない技術職員でこなすことが困難です。ビッグデータや新技術の活用により業務を効率化していく必要があり、企業・大学との連携が不可欠です。

そこで、3月31日、泉州地域8市4町では、三井住友海上火災保険(株)、大阪大学大学院工学研究科およびパシフィックコンサルタンツ(株)と「ドライブレコーダーを活用した維持管理の研究に関する協定」を締結しました。ドローン映像を収集し、AIによる画像分析により道路損傷データを抽出、そのデータを大阪大学大学院でさらに分析し、「路面状態の劣化予測」「管理基準の設定」につなげることを目的とするものです。

また、下水道の維持管理においては、秋田県や長野県では県主導で全県的な連携組織が構築されつつありますが、大都市郊外の衛星都市群である泉州地域では核となる都市が存在せず、インフラ維持管理を広域連携で効果的に推進する取組みも属人的に個人の力量にかかっている現状です。また、首長が選挙で入れかわったとしても、揺るがない枠組みを作る必要があります。

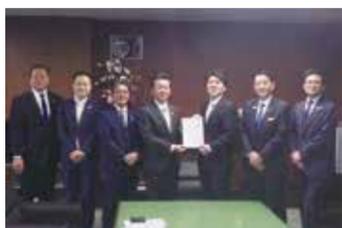
そこで、インフラ維持管理業務の共同発注などの実施に向け、統一的な基準作成、発注手法などの検討を行い、さらに将来的には泉州地域全体のインフラを管理する永続的な組織の設立を目指すこととしました。この取組みは、2月28日、総務省委託事業「広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業」に採択されました(全額国費3520万円)。

こうした最近の動きについて、4月11日に、私自身が中野国土交通大臣、坂井内閣府国土強靱化担当大臣に報告したところ、両大臣ともに関心を持っていたこと、今後、泉州地域の取組みについて進捗を教えてください」という旨の言葉をいただきました。

問合せ先 公共施設マネジメント室
072-433-7213



坂井内閣府国土強靱化担当大臣への面会



中野国土交通大臣への面会



3月31日の協定に関するNHKニュース

